

歳末チャリティー展売上

2年連続で前年比増

全国で活躍する一流作家の皆さんのご協力をいただき、年末に実施している毎日新聞西部社会事業団恒例の歳末チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は、2018年も12月第1〜3週の土・日曜、北九州（小倉）、山口、福岡の3会場で順次開催。常連の方を中心に美術ファンが訪れ、3会場の売り上げ合計は1130万円台で前年度を約36万円上回り、2年連続で対前年比プラスとなった。

即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刹の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約660人から約1250点の作品が寄せられた。これらの作品を3会場に振り分け、前年度までの寄贈作品と合わせて展示・即売した。いずれの会場でも、約100点の作品は入札方式で販売、2日目に集計して落札者を決めた。今回は12月1、2日の北九州展を、新たな展開を求め、初めて小倉北区の小倉井筒屋新館パステルホールで開催。8、9日が山口展（山口市の山口井筒屋催場）▽15、16日が福岡展（福岡市中央区のアクロス福岡）だった。多くの皆さんに足を運んでもらおうと、今年度もチラシの作成・配布、毎日新聞紙上での特集記



初めて北九州展を開いた小倉井筒屋新館パステルホールでお気に入りの作品を求める来場者

面に掲載した寄贈者名や出品会場などの紹介も行った。その結果、新しい会場で開いた北九州展での売り上げが伸び、やや低調だった他の2会場分をカバーして2年連続の対前年比増につながった。また、3月2日には毎日西部会館で、年度末展を開催。年末展で入札にした作品をはじめ、約2000点をさらに求めやすい値段で展示・即売した。即売展の売り上げから諸経費を差し引いた益金は、児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体などへの助成金など、さまざまな福祉事業に活用する。

節目の年祝う

知的障害のある人たちの人生の節目を祝う「出発（たびだち）を励ます集い」（北九州市手をつなぐ育成会など主催、毎日新聞西部社会事業団後援）が19年1月26日、戸畑区汐井町のウエルとばたであった。写真。



ふうせんバレー全国大会

障害者と健常者が協力して勝利を目指し戦う「第29回全国ふうせんバレーボール大会」が18年12月2日、北九州市であり、韓国からの参加も含め、48チーム約460人が熱戦を繰り広げた。写真。競技は1989年に同市で考案された。直径約40センチの鈴入り風船を6人全員が必ず一度触れ10回以内に相手に返すのがルール。この日も健常者と障害者が連携プレーを繰り広げた。

編集後記 ◆年末に開催した歳末チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」では北九州、山口、福岡の3会場で多くの皆さんに作品をお買い上げいただきました。また、歳末助け合い「愛の義援金」でも、たくさんの方から浄財を頂戴しました。いずれも、当事業団が予定している社会福祉事業の資金として活用させていただきます。ご協力に改めてお礼を申し上げます◆今年度も作品輸送や会場設営などで、中越輸送さん▽毎日メディアサービス山口さん▽毎日新聞西部アシストさんにお世話になりました。ありがとうございます◆当事業団の活動は「そよかぜ」のほか、ホームページや昨年から始めたツイッターでもお知らせしています。今後も、お力添えをよろしくお願いいたします。

募金総額は883万円

歳末助け合い「愛の義援金」

毎日新聞社と毎日新聞西部社会事業団が協力をお願いした2018年度の歳末助け合い募金「愛の義援金」の結果がまとまった。一般募金（社会福祉寄金）に東日本大震災救援金、小児がん征圧募金などの指定寄付を合わせて660件、883万4692円となり、前年度を約260万円下回った。社会福祉寄金は、児童養護施設や母子施設、障害児施設で生活している子どもたちへの新入学・卒業プレゼントや福祉諸団体への助成金として活用、指定募金は関係機関や団体に贈る。

「愛の義援金」は12月の約1カ月を募集期間とし、これまでに何らかの募金をいただいた方や歳末チャリティー展で作品をご購入いただいた方々などにチラシや振込用紙などを郵送、18年度は約5650人にご協力をお願いした。募金は、さまざまな社会福祉事業の資金となる社会福祉寄金のほか、用途を指定した海外救援金、小児がん征圧募金、東日本大震災救援金、毎日希望奨学金、熊本地震救援金、西日本豪雨災害救援金、北海道地震救援金も並行して受け付け。11月末、毎日新聞紙上に社告が掲載されると寄託が始まり、12月に入ってから集まった浄財を寄託した福岡県飯塚市の飯塚聖母幼稚園の皆さん



らは件数が増え、月末まで多くの善意が寄せられた。その一方で、協力を呼び掛けた郵送物が「宛所不明」として多く返送されてきた。期間中の全募金を集計した結果、前年度に多くの寄託があった「九州豪雨災害救援金」が外れたこともあり、件数は41件少なく、額は256万9752円下回った。

このうち、社会福祉寄金は412件で、19件減少したものの、額は約407万円で約17万円増加した。大きな被害が出た西日本豪雨災害の救援金は、大口の寄付もあり20件で約106万円▽北海道地震救援金は11件で約22万円だった。小児がん征圧募金、海外救援金は件数、金額とも前年度を上回った。また、この3月で丸8年となる東日本大震災の関連募金は「毎日希望奨学金」「救援金」両方が件数は減ったが、金額は増加した。

18年度歳末助け合い募金集計

	18年度		17年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般募金	412	4,068,299	431	3,900,589	-19	167,710
海外救援金	60	865,755	58	359,655	2	506,100
小児がん	67	723,864	58	311,892	9	411,972
小計	539	5,657,918	547	4,572,136	-8	1,085,782
東日本大震災救援金	2	210,000	5	140,000	-3	70,000
希望奨学金	86	1,381,535	101	1,375,112	-15	6,423
西日本豪雨災害救援金	20	1,062,089	0	0	20	1,062,089
九州豪雨災害救援金	0	0	38	5,059,770	-38	-5,059,770
北海道地震救援金	11	223,150	0	0	11	223,150
熊本地震救援金	2	300,000	10	257,426	-8	42,574
合計	660	8,834,692	701	11,404,444	-41	-2,569,752

第103号

2019年3月

発行所 〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13-1 (公財)毎日新聞西部社会事業団
 発行人 瀬尾 健悟
 電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
 E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
 郵便振替 01770-2-40213
 URL http://www.mainichiseibu-shakaijigyo.biz/

そよかぜ
 毎日新聞西部社会事業団だより

★新入学・卒業祝い品プレゼント★

64施設の452人に

を、中学・高校を卒業予定の子どもたちには目覚まし時計か図書カードを贈った。このほか、歳末募金の第二次配分として、山口県の共同募金会▽福岡県の交通遺児を支える会▽九州盲導犬協会▽福岡、北九州のいのちの電話▽北九州あゆみの会▽障害福祉ボランティア協会▽ホームレス支援の「抱撲」――の福祉8団体に前年度と同規模の活動助成金を贈った。

